

深川東京 *fukagawa tokyo modankan news* モダン館だより

深川東京モダン館だよりは、今号で89号を迎えます。平成24年6月から原則毎月発行で、足かけ8年にわたっています。そんなモダン館だよりが、令和2年5月号を休刊したのは、今もなお収束の雰囲気を感じられない新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言を受け、3月28日から5月31日まで臨時休館となったことによるものです。

本来であれば、今年はオリンピックイヤーということで7月から9月までは東京を中心に各所で競技が開催され、多くの人々が訪れたことでしょうか、来年に延期となりました。まだまだ予断を許さない状況であり、観光案内所であり文化施設でもある当館がどのようなことが出来るのかを手探りしながらすすめていきたいと思います。



百圓珈琲は2月末より毎回持ち手の消毒を行ってご提供しています

7月のカレンダー 催し物の詳細は2面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6 休館日	7	8	9	10	11	12
13 休館日	14	15	16	17	18	19
20 休館日	21	22	23	24 	25	26
27 休館日	28	29	30	31		

開館時間 10:00-18:00 (金・土曜日は19時まで)



お土産ご紹介



今回はモダン館で扱っている商品の中から、これからの季節にピッタリな2品をご紹介します。

冷たい甘酒で栄養を補給



「大江戸あまさけ」270円(税込)

1品目はパック入りの甘酒です。この甘酒は米糀から作られているのでノンアルコール。甘味も米糀由来のもので。

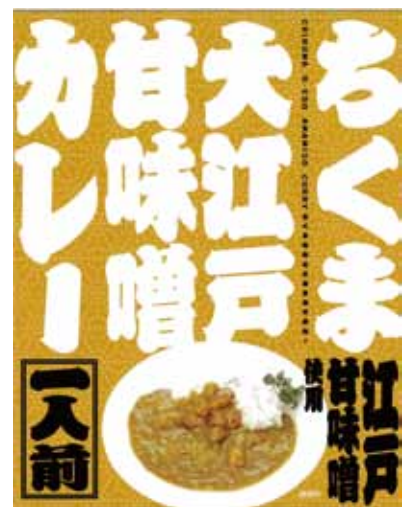
ストローが付いているので手軽に飲めます。

凍らせてシャーベット状にすると、また違った味わいになります。

暑いときはカレーが効く！

「大江戸甘味噌カレー」610円(税込)

2品目はレトルトカレーです。パッケージに甘味噌と書いてあるので「味噌味のカレー？」と思われるかもしれませんが、味噌のコクが効いた中辛味のカレーです。好みの具材をプラスしてアレンジしてみるのもいかがでしょうか。



臨時休館のおしらせ

9月8日(火)～21日(月祝)は施設改修工事のため臨時休館いたします



魅力いっぱいの深川

「深川蛤町の裏店が、宝暦12年8月の残暑に茹だっていた」

深川蛤町という地名に惹かれて読み始めた山本一力の人情時代小説『あかね空』の書き出しの一節です。大変面白く自分の住まいにも近いため興味が増したので同じ様に深川を舞台にした宮部みゆきの『ぼんくら』、『震える岩』を読みました。

その後、江戸時代の地名と現在の場所などの歴史をさらに詳しく知りたくなり調べてみると、この地が江戸の発展にとって大変大きな役割を担い、江戸の発展と共に栄えてきた町であったことが良く分かり改めて好きになりました。

現在は遊歩道になっているものもありますが、縦横に張り巡らされた水路、信仰と息抜きのある場所であった永代寺、富岡八幡宮などの神社仏閣、また近年話題となっている渋沢栄一を始め多くの偉人が生活していた場所でもある深川は、少し薄くなった気もしますが厚い人情も含めて江戸時代も現代も本当に魅力一杯の町だと再認識しました。

山本、宮部両氏以外にも深川近辺を舞台とした小説は多くの作家の作品に見ることが出来ます。これは深川の立地、歴史、人情が人に親しみを持たれ、まさしく小説にするに相応しい地区だったためと思われまふ。

ほんとうに見所は沢山ある町ですがその一つとしては地域を代表する賑やかな祭りである深川八幡祭りがあります。江戸初期に始まった伝統ある江戸三大祭りの一つで、50数基の神輿が町内を約8時間かけて練りあるき沿道に出迎える人々が水を掛けることから別名水かけ祭りとも

も言われている神輿と町内の人々が一体となった大変勇壮な夏祭りです。今年は三年に一度の本祭りですが、東京オリンピック同様、新型コロナ問題で一年延期になってしまいました。

ただ嬉しいことに本宮神輿は富岡八幡宮境内の神輿蔵に2基展示されておりいつでも見ることができます。そのうちの1基の一宮神輿は日本一と言われている大きさとその装飾から見ごたえのある素晴らしいものですが、残念なことによりこの大神輿は平成3年に奉納された時以来あまりの重さのため担がれていません。その時に担いだ私の友人に話を聞いたところ「こんなに重い神輿を担いだのは初めてだ。特に担ぎ棒のしなりは怖かった」と言っていました。やはり日本一を誇る大神輿なんですね。

私のような祭り好きの人間としてはもう一度実際に外で皆が担いでいる姿を見たいですし、その際には年齢からしても厳しいとは思いますが叶う事なら担いでみたいと願っています。皆さんもぜひ一度見にいらしてください。



(文 江東区文化観光ガイド 塚田 英之)

深川東京モダン館では、江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。 ※諸事情によりガイド不在の場合もございます。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室(20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース(80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター コトミちゃんグッズ各種（ぬいぐるみ、缶バッジ カードスタンドほか）
- ・江東区の名所を描いた 絵はがき（水彩・切絵・写真）
- ・Tシャツ
- ・江戸切子
- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒
- ・コースター
- ・深川ゲイシャコーヒー等

百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております。

ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」そして「モダン館ブレンド」（しっかり・すっきり）、また夏季限定の「ひやし」5種類をご用意しております。

まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10:00-18:00(金・土曜日は19時まで)

休館日：月曜日

(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)



Tagetes patula

※2020年4月より深川東京モダン館は（一社）江東区観光協会が運営します

「深川東京モダン館だより」第89号(2020年7月1日)発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館 〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15 TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632 Mail info@fukagawatokyo.com ホームページ www.fukagawatokyo.com

